
空の意味

海上なつ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の意味

【Nコード】

N7051E

【作者名】

海上なつ

【あらすじ】

一人の悩める少年が、とても短い心の旅をする。自分で抱えたものの答えを探し出すまでの、少年の気持ちを綴る。

太陽がはつきりと世界の色を映す。

初めに見たものがそれ。よく晴れた空。

でも僕には何もやることがない。

誰かにこの感動を伝えたいとも思わない。

ゆっくり街を見渡す。すぐに聞こえてくる音。

人の喋り声。

機械の音。

でも孤独の人間には、ただうるさいだけ。

無造作に足を動かしてみる。

最初から目的地も帰る場所も、僕にはないんだ。

足を止めたのは静かな公園。

まだ今日が始まったばかりだから、聞こえるのはほんの小さな音だけ。

耳を傾ける必要はない。自然と入ってくる。

心臓のないものがつくるざわめき。

感情表現できないものが出す鳴き声。

それらはきつと、長くは続かない。その分、儚くて綺麗なものだから。

この公園は、午後になると騒がしくなる。

その空間でさえも、違う時を感じて景色を変えてしまっただ。
全部同じで、どこへ行っても感情きぶんが変わらない世界だったら、
きっと、心も、帰る場所も、いらなくなって、失っていく。

そんな世界で生きている以上、現実いまの關係に疲れる事は当たり前。
だからこそ、自分の心を休める所が必要なんだ。

必要だから、何処かに必ず在るはず。

場所それさえ探せたら、少しは楽になると思うんだ。

僕は二度目の空を見上げた。

さつきと表情いろが微妙に違った。

今日は、この気持ちけしきが変わらないうちに去ろう。

僕は考える。

みんな結局個人ひとで、感情は無限。

そして帰る場所は、それぞれひとつずつ。

好きな物、好きな人。そんなものは少し周りを意識すれば簡単に見
つかる。

それだけで十分。

誰にだってできる事。

やっと答えを見つけた。

もう道に迷わないだろう。

一本に続く、僕だけの道。

途中でどんな障害があっても、その先は心から安らげる場所とつな
がっていますように……。

（後書き）

読んで下さってありがとうございます！空音です。

空はよく人の感情に例えられる。

きっと何か近いものがあるんじゃないかと思います。

独りで悩んだら、自然の音に耳を傾けてみて下さい。

ちよつと視点を変えることで、悩みの解決策がつかぶこともあると思っんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7051e/>

空の意味

2010年12月28日02時45分発行